

## (昆虫類)

種名	指定の理由〔被害の実態等〕	注意事項	備考
トガリアメンボ	急激に分布域を拡大しており、在来のアメンボと生息地が競合することが指摘されている。		
フェモラータオオモモフトハムシ	愛好家からの放逐の可能性が高く、生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要であるため。		
クスベニヒラタカスミカメ	近畿圏、香川において、神社、仏閣等のクスノキで急速に拡大しており、県内の一部地域に定着し、在来種との競合リスクが高いため。		
キマダラカメムシ	在来植生を食害する。		
アワダチソウゲンバイ	県内に定着しており、在来のキク科植物を食害する。		
プラタナスゲンバイ	県内に定着しており、主にプラタナスに寄生し、吸汁する。プラタナスの他ブナ科、カエデ科等広範な樹木に害を及ぼすとされている。		
ヘクソカズラゲンバイ	県内に定着しており、在来のヘクソカズラを食害する。		
ヨコヅナサシガメ	県内に定着しており、在来の昆虫類を捕食する。		
ヒロヘリアオイラガ	県内に定着しており、サクラ、ケヤキ等在来の広葉樹を食害する。		幼虫のとげには毒がある。
外国産クワガタムシ (特定外来生物指定種除く)	在来種と交雑しており、遺伝的かく乱が懸念されている。	飼養個体が野外へ逸出しないよう適切な管理を行うことが重要である。	ペットとして流通している。 環境省「生態系被害防止外来種リスト」(定着予防外来種)